

HIV感染症患者を支える

第2回 HIV感染症患者の療養支援に関する
NsとMSWの協働シンポジウム

地方エイズ治療拠点病院における連携活動の実際

HIV 感染症の患者さんの長期療養に際し、HIV 関連・非 HIV 関連疾患の治療や予防、加齢に伴う心身の機能低下など医療、介護や住まい・終活など療養生活全般の相談を受ける機会が増加しています。初回は首都圏のエイズ治療拠点病院からの情報提供でしたが、今回は地方の拠点病院 2 施設から看護師と医療ソーシャルワーカーの連携の実際を報告いただきます。奮ってご参加ください。

日時：令和 4 年 **12 月 15 日** 木 18:00～19:10

方法：ZOOMによるオンライン

事前申し込み(先着 100 名) 締切：12 月 7 日 水 正午

HP <https://qr.paps.jp/ARvkt>

あるいは QR コードから

* 個人情報は運営管理の目的以外に使用しません



対象：HIV 診療に携わる

看護職と医療ソーシャルワーカー

プログラム

進行 三嶋 一輝 医療ソーシャルワーカー
(福井大学医学部附属病院)

羽柴知恵子 HIVコーディネーターナース
(NHO 名古屋医療センター)

開会挨拶 「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」班 研究代表者
横幕 能行 (NHO 名古屋医療センター エイズ総合診療部長、
エイズ治療開発センター長)

シンポジウム

① 福井大学医学部附属病院の場合 ～看護師の立場から～
木下 佑子 HIV 専任看護師 (福井大学医学部附属病院)

② 旭川医科大学病院の場合 ～医療ソーシャルワーカーの立場から～
四戸 良 医療ソーシャルワーカー
(旭川医科大学病院)

総合討論

開会挨拶 池田 和子 看護支援調整職
(国立国際医療研究センター病院 ACC)

主催

厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV 感染症の医療体制整備に関する研究

研究分担者：三嶋一輝「Nsとの協働による要介護・
要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

研究分担者：池田和子「ブロック内中核拠点病院間
における相互交流による HIV 診療環境の相互評価と
MSW と協働による要介護・要支援者に対する療養
支援のネットワーク構築」

後援

公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会

問い合わせ先

福井大学医学部附属病院 地域医療連携部

三嶋 一輝 TEL 0776-61-8645 (平日 9:00 - 17:00)